

(公財) 東京市町村自治調査会  
平成29年度 調査研究結果発表シンポジウム

# 「多摩・島しょ地域」× 「スポーツ」でまちを元気に

参加  
無料

## ～スポーツが持つ力とスポーツコミッションの可能性～

当調査会は多摩・島しょ地域の自治の振興や住民福祉の増進に寄与することを目的に、活動の一環として市町村の自治に関する調査研究を行っております。

本紙6月号(No.45)でもお知らせしておりましたが、今年度は、昨年度に行った「多摩・島しょ地域におけるスポーツを活用した地域活性化に関する調査研究～スポーツコミッションの機能に着目して～」(調査研究の概要は次ページ)の成果を踏まえて開催いたします。

平成29年  
日時 **7月6日(木)**  
13:30～16:45(12:30受付開始)

### 会場案内

## 調布市文化会館たづくり

(くすのきホール)

〒182-0026 調布市小島町2-33-1

### □ アクセス

京王線 調布駅 中央口改札 広場口出口から徒歩4分  
(有料駐車場・無料駐輪場あり)



### プログラム ※手話通訳・要約筆記あり

#### ○基調講演

「スポーツを活かした地域づくりと活動組織としてのスポーツコミッション」

木田 悟 (一財)日本スポーツコミッション 理事長

#### ○調査研究結果発表

「多摩・島しょ地域におけるスポーツを活かした地域づくりに関する調査結果～スポーツコミッションの機能に着目して～」

齋藤 太一 (公財)東京市町村自治調査会 研究員

#### ○事例紹介

「行政と連携したスポーツコミッションの設立と活動」

石本 直樹 (一社)志摩スポーツコミッション 事務局長

「広域連携を目指したスポーツコミッションの設立と活動」

酒井 修一 NPO法人 ふじさんスポーツコミッション協会 事務局長

「総合型地域スポーツクラブを活かした地域づくり組織と活動」

桑田 健秀 NPO法人 地域総合スポーツ倶楽部・ピボットフット 理事長

#### ○トークセッション

「スポーツコミッションの設立背景と活動及び今後の方向性について」

木田 悟 (一財)日本スポーツコミッション 理事長

白枝 淳一 NPO法人 出雲スポーツ振興21 専務理事

青山 佳代 宇部市 総合政策部 文化・スポーツ振興課長

### 参加方法

参加者の申込み状況によっては当日参加が可能です。申込み状況は随時公開しておりますので、当日参加ご希望の方(事前に申込みをされていない方)は、下記専用ホームページにてご確認の上、お越しください。

(<https://req.qubo.jp/tamasympo2017/form/tokyo>)

※シンポジウムの事前申込みは6月26日(月)で締め切っておりますのでご了承ください。

※多摩・島しょ地域自治体職員の方で申込みをされておらず参加ご希望の方は、参加方法が異なりますので、各自治体の研修担当にご確認ください。

## 平成28年度 調査研究報告書の紹介

本紙5月号(No.44)で概要を紹介した平成28年度の調査研究報告書のうち、4件の単年度調査研究報告書について、隔月で詳細を紹介していきます。今号では、「多摩・島しょ地域におけるスポーツを活用した地域活性化に関する調査研究～スポーツコミッションの機能に着目して～報告書」を紹介いたします。

## 多摩・島しょ地域におけるスポーツを活用した地域活性化に関する調査研究 ～スポーツコミッションの機能に着目して～ 報告書

### 1. 背景・目的

スポーツの効用は、健康増進による医療費削減、地域コミュニティの醸成及び経済活性化等、自治体施策の様々な分野で見ることができます。しかし、各分野における事業の効果を最大限に活かしていくためには、関係機関の連携が必要であり、先進自治体ではコーディネートを行う組織として「スポーツコミッション」の設置が進められています。

本調査研究は、スポーツが持つ様々な効用を「総合的なまちづくり」につなげるために、スポーツコミッションの機能に着目した推進体制のあり方を提示することを目的に実施しました。



### 2. 多摩・島しょ地域におけるスポーツ活用の現状と課題

#### (1) 様々な地域特性(立地条件・自治体規模などによる差異)による課題

- ・ 人口規模等の違いや自然環境を含めた地理的条件の多様さを考慮したスポーツ活用の取組が必要
- ・ 多様な住民層の存在を考慮し、人口の過疎高齢化等々に配慮した取組が必要

#### (2) 地域活性化の手段としての「スポーツ」活用の視点

- ・ スポーツが様々な地域活性化に結び付くことから、積極的に活用する視点が重要

#### (3) 2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機に

- ・ 「レガシーの創出」を睨んで、スポーツの活用を行政内横断的取組へ転換することが必要

### 3. 多摩・島しょ地域におけるスポーツコミッション設立に向けての提言

現状と課題を踏まえ、多摩・島しょ地域の自治体に向けて、以下の提言をしました。

#### (1) 地域の活性化にスポーツを活用する

- ① 「体育」から「スポーツ」へ転換する
- ② スポーツ部署はまちづくりや地域の活性化を進める部署と連携する

#### (2) 大規模なスポーツイベントを契機と捉える

- ① キャンプ誘致やイベント開催などに取り組む目的を再確認する
- ② きっかけ、気運の高まりを活かす
- ③ 東京オリンピック・パラリンピックを契機として障がいへの理解を普及、促進する

#### (3) 地域の特性に合った組織づくりを行う

- ① 組織の設立に必要なことを把握する
- ② スポーツコミッションを複合型組織<sup>※</sup>の1つの機能とする
- ③ スポーツコミッションは広域的な取組又は組織とする
- ④ 地域環境の違いを認識して取り組む

#### (4) 自立し継続する組織づくりを行う

- ① 身の丈にあった事業を行う
- ② 組織の自立をサポートする
- ③ モチベーションを維持する

※スポーツの外に観光やフィルムコミッションなどの機能を持たせた組織